

講演会

「米朝首脳会談と北東アジア情勢の行方」

主催：アジア共生学会

後援：北九州市、キーネット、NPO 法人市民塾 21

日時：2018年10月13日（土）14時～15時30分（13時30分受付開始）

場所：九州国際大学メディアセンター内マルチメディア教室（八幡東区平野1-6-1）

※本事業に関する問合せおよび申し込み先

アジア共生学会事務局

（Tel & Fax：093-662-8319、事務局長：男澤）

参加費無料

ご参加をお待ちしています

■ 総田芳憲先生（立命館アジア太平洋大学教授）

[略歴]

- ・ 立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 教授（2014年から）
- ・ 北九州市立大学 専任講師、助教授、准教授（2002年～2014年）
- ・ 宮崎国際大学比較文化学部 専任講師（2001年～2002年）
- ・ 熊本大学文学部哲学科卒（文学士）
- ・ （米国）ノーザン・イリノイ大学政治学研究科修了（修士、博士）
- ・ 専門は北東アジアの国際政治。特に、北朝鮮の核兵器開発問題を巡る国際政治、日本の安全保障政策。
- ・ 2007年から5回の訪朝経験あり。
- ・ 著作は、『朝鮮半島の和解・協力10年』（御茶の水書房、2009年、共著）、「北朝鮮の核兵器開発」（『東アジア研究』増刊号、2012年3月）、*One Korea*（Routledge、2016年、共著）、*Regional Institutions, Geopolitics and Economics in the Asia-Pacific*（Routledge、2017年、共著）など。



[講演の内容]

北朝鮮の核開発は、朝鮮戦争以来続く米朝の敵対関係の中で進んできた。しかし、初の米朝首脳会談が6月に開催され、米朝関係の改善、北朝鮮の非核化に関する合意がなされた。今回の合意は、どう評価するのが適当なのか。首脳会談の背後には、米朝それぞれどのような思惑があったのだろうか。北朝鮮の非核化は進むのか。北東アジア情勢は今後どのように展開していくのか。日本はどう対応すべきなのか。それらの点について考察する。

【参加申込書】参加ご希望の方は、所属、氏名、電話番号、ご記入の上、電話またはFaxでお申込み下さい。

ご所属 ()

お名前 () 連絡先 (- -)